

京都市右京区南太秦学区における 住民参加型バス利用促進MMの継続的实施

京都市右京区 南太秦自治連合会(会長 高岡 宏行)

京都市右京区役所

京都市交通局

朝倉 眞一(京都市文化市民局地域自治推進室)

土井 勉(京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット)

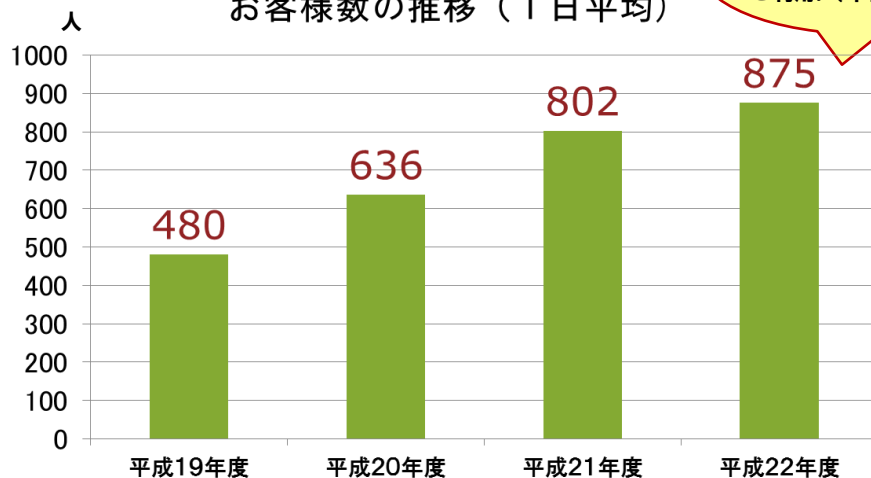
バスの利用者が、4年間で 480人/日から1,000人/日※と、2倍以上に増加！

※平成23年度 平日速報値

地域での4年間の取組を通じて、市バス70号系統の利用者数が着実に増加。
平成24年3月のダイヤ改正で、市バス70号系統の利便性が向上（地域ニーズを反映）。

「バスの運行時刻が、
近所への買い物にちよ
うど良く、とても便利
になった」との声も！

お客様数の推移（1日平均）



【平成24年3月ダイヤ改正】

- ① 昼間時間帯に増発！
60分間隔→40分間隔に
（平日+3回、土曜・休日+5回）
- ② 運行時刻を変更！
SANSARight京（区役所）での
13時や15時からの会合にも便利に。
- ③ 最終バスの時刻を遅く！
梅田駅から1本遅い快速急行から
乗継がOKに（梅田21:50発 桂駅乗換）

京都市右京区南太秦学区の概要



【南太秦学区】

京都市右京区南西部に位置し、住宅地を中心とした地域である。人口約6300人、約2500世帯数であり、65歳以上割合が13.7%である（平成17年度国勢調査結果より）。

周辺地域も含め、三条通や四条通での東西方向の公共交通機関（バス路線）は整備されているが、南北方向の公共交通の確保が課題であった。特に南太秦学区は、東西方向の幹線道路と接してはならず、南北方向の公共交通の確保が長年の悲願であった。



福社や子育てなど、自治活動の盛んな地域



市バス70系統が走る南北の幹線道路

【市バス70号系統】

京都市営地下鉄東西線の太秦天神川への延伸にあわせ、平成20年1月に太秦天神川から阪急桂駅を結ぶ路線として新設された、南太秦学区を南北に通る唯一のバス路線。同年10月にはJR桂川駅まで延伸。

道路が狭い区間もあるため、小型バス（ノンステップバス、定員36人）で運行。



幅員の狭い区間を走るための小型バス



3つのターミナルを結ぶ路線

① 路線設計の工夫 ～ターミナルをつなぐ路線設計～

3つの鉄道駅をつなぐ路線設計（京都市営地下鉄太秦天神川駅～阪急桂駅～JR桂川駅）。
ミッシングリンクをカバーした路線。

② 執念のMM ～協働と継続による成果～

地域住民が主体となって、取組を4年以上継続（平成24年現在も継続中）。
行政・交通事業者との協働を通じて、地域で公共交通機関を守るという意識が拡大。

③ 周辺エリアへの波及 ～周辺地域の利用者の取り込み～

南太秦学区での利用者は着実に増加。
南太秦学区以外のエリアも含め、市バス70号系統の路線全体で利用者が増加傾向にある。



地域住民の目線で、取組を4年間継続！



平成19年度～平成20年度の取組

当初は環境・公共交通機関の利用促進をテーマにワークショップ形式で検討を進め、CO2排出量などを考慮したマイルートを掲載する「おでかけマップ」を作成し全戸配布を実施した。その後、地域住民のおでかけ支援の視点を交え、市バス70号系統の利用実態のアンケート調査、体験乗車券配布と乗降客数調査とともにワークショップ形式での意見交換を重ね、使いやすいポケット時刻表を作成・配布した。地域住民が主体的な取組を通じてMMの意義を理解していくことで、同一地域で4年間継続した取組が行うことができた。

【平成19年度】『かしこいクルマの使い方』を考えるプロジェクト



公共交通機関（市バス70号系統）の利用促進を含めた「かしこいクルマの使い方」をテーマに、ワークショップ形式で意見交換を2回開催地域住民一人ひとりが普段の交通行動を見直しなが、地域ぐるみで市バス70号系統の利用促進を考える取組を進めた。

（事業予算）1,820千円

- 「南太秦おでかけマップ」の作成・全戸配布
- 冊子『「かしこいクルマの使い方」を考えてみませんか』の作成・全戸配布

平成20年度】『地域に根付いたかしこい暮らし方』プロジェクト(太秦学区と共同実施)



MMとともに、地球温暖化対策・CO2削減などの環境に対する意識向上、地域活性化の視点を含めた「地域に根付いたかしこい暮らし」という視点を加え、幅広い視点から公共交通機関（市バス70号系統）の利用促進を図る取組を進めた。ワークショップ形式で意見交換を2回開催。

（事業予算）500千円

- 冊子『「地域に根付いたかしこい暮らし」をはじめませんか』の作成・全戸配布

平成22年度には、市バス70号系統のポケットサイズ時刻表を作成・配布（立命館大学社会調査士ゼミ、京都市交通局、右京区役所と連携）し、更にダイヤ改正を実施した平成24年3月には、ポケット時刻表の修正版を作成し、バス増便の周知とより一層の利用促進を呼び掛けた。

【平成21年度】 南太秦学区での地域住民主体のMMの継続的取組



公共交通機関（市バス70号系統）の利用に向けた情報提供とともに、地域住民の利用実際についてのアンケート調査を実施。「市バス70号系統を利用しやすくするために地域ができること」をテーマに、ワークショップ形式での意見交換を1回開催。

（事業予算）55千円

※自治会活動をベースに、立命館大学社会調査士ゼミ、右京区役所、京都市交通局がサポート。

※近隣地域（宇多野学区）にMMの取組が拡大した。

【平成22年度】 『乗ってみようN南太秦DE市バス』

市バス70号系統 南太秦 ポケット時刻表

発行：南太秦自治会連合会
監修：右京区役所 京都市交通局
協力：立命館大学社会調査士ゼミ 多摩野学区 宇多野学区自治会連合会等

市バス70号系統をより身近に感じるために、地域住民のおでかけ支援の取組を実施。体験乗車券配布と乗降客数調査とともに、「おでかけプラン作成」や「体験乗車とポケット時刻表づくり」をテーマにワークショップを2回開催。成果としてポケット時刻表を作成・配布した。

平成22年度はワークショップでの体験を広め、MMを地域に根付かせるための人材育成を目指した。

（事業予算）438千円

- 南太秦版 市バス70号系統ポケット時刻表
- 市バス70号系統利用券（体験乗車用）

※京都市都市計画局歩くまち京都推進室「スローライフ大作戦」事業予算。

市バス70号系統利用券

平成22年11月30日まで有効

市バス70号系統利用券は「自己負担」にて発行されます。その他の市バスではご利用いただけません。

お席の確保、乗降時とともにご乗車料金を投入下さい。

本券の当戻しいたしません。京都市交通局

市バス70号系統利用券
体験乗車をしていただくため、
WS参加者に配布。

右京区南太秦学区でのMMの取組は、平成22年度以降も継続されている。平成23・24年度には、ポケット時刻表の改訂とともに、さらに地域の公共交通をさらに便利にするために、そして市バス70号系統のさらなる利用促進に向けたワークショップが開催されている。

【WS形式による進行がもたらした効果】

地域住民・行政・交通事業者の信頼関係 「地域の足は地域が守る」への意識転換

これまでの地域活動での経験・蓄積から、WSの企画運営やファシリテーターまで、地域主導で進められた。WSでは交通事業者・行政担当者もテーブルに参加した。その結果、専門的見地からの適切な情報提供、信頼関係の構築が進んだ。

■行政・交通事業者・地域住民との協働（WS形式での意見交換）

＝ 相互理解・信頼関係の構築、適切な情報提供

■地域住民のニーズを反映した取組内容の検討

＝ 地域の主体性向上、「みんなで支える公共交通」意識形成



【地域住民主体のMMがもたらした効果】

現在の利用者の横には、次の利用者がある（利用拡大へのアプローチ）

南太秦学区の取組は、地域住民主体で進められたことが大きな成果をもたらした。まずは現在の利用者を中心としながら、周辺の非利用者へ徐々にアプローチを拡大していったのだが、こうした地域ならではの手法が、利用者拡大には効果的であった。

- ① 口コミによる情報提供、参加者拡大。
- ② 実体験に基づく情報提供や取組内容の検討
- ③ 買い物やお出かけなど、生活に直結したニーズへの対応
- ④ 近隣住民による取組がもたらす安心感、信頼感

